

【病理組織細胞学】ホルマリンに関する次の記述 a～e のうちには正しいものが二つあるが、それらはどれか。

- a. 試薬ホルマリンにはメタノールが添加されている。
- b. ホルマリン中のホルムアルデヒドは毒物及び劇物取締法で劇物に指定され、特定化学物質等障害予防規則で作業環境中の管理濃度が0.1 ppm と定められている。
- c. ホルマリン中のホルムアルデヒドは空気や日光で酸化され、ギ酸を生じる。
- d. ホルマリンは凝固型固定剤に相当する。
- e. 病理学的な日常検査の固定には10%中性緩衝ホルマリンが最も推奨されているが、ホルマリン色素の沈着が生じやすい。

- 1. a, b
- 2. a, e
- 3. b, c
- 4. c, d
- 5. d, e

正答 ③

【臨床血液学】 Bernard-Soulier（ベルナール・スーリエ）症候群の検査所見として当てはまるものが次の a～e のうちには二つあるが、それらはどれか。

- a. 血小板数正常
- b. 出血時間延長
- c. 巨大血小板出現
- d. リストセチン惹起血小板凝集正常
- e. 活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）延長

- 1. a, b
- 2. a, e
- 3. b, c
- 4. c, d
- 5. d, e

正答 ③